

# 平成27年度 施策評価表

作成年月日：平成28年9月2日	課・グループ名	まちづくり課企画情報グループ 総務課財務グループ
-----------------	---------	-----------------------------

<b>施策名</b>	②行財政改革の推進 1-2-②		
<b>1. 施策の現状分析及び展開方向</b>			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	1. 町民協働に支えられる自立したまちづくり	(2) 持続可能な行財政運営の推進	②行財政改革の推進
① 施策のねらいと展開方向	●南幌町行財政改革実行計画に基づいて、効果的かつ効率的な施策を進めるとともに、毎年度進捗状況を管理し、達成度について評価検証を行います。 ●公共施設への指定管理導入にあたり、住民ニーズや施設の性格に合った指定管理者を選定し、施設の効率的かつ効果的な運営に取り組みます。		
② 施策の現状と課題	現 状	課 題	
	●平成21年度に、南幌町の行財政を考える町民会議の答申をもとに策定した、南幌町自立緊急実行プランが平成25年度で終了し、継続して行財政改革に取り組むため南幌町行財政改革実行計画を策定しています。 ●北海道からの事務権限移譲については、行政体制の充実・強化、住民サービスの向上を目指し、積極的に進めています。また、平成25年度現在の北海道からの権限移譲数は、337権限で空知の市町で5番目に権限委譲が進んでいます。 ●平成18年度より、都市公園26箇所を含む48施設について指定管理者制度へ移行しており、引き続き対象可能施設の導入を進めています。	●南幌町行財政改革実行計画に基づく改革項目を計画的に実施していく必要があります。 ●公共施設サービスの充実やコスト削減を図るため、新たな施設の指定管理導入へ向けた取り組みを進める必要があります。	

<b>2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況</b>							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
	・民間の活用により、サービスの充実やコストの削減が期待できることから、指定管理者制度の着実な実行が目標どおり進められるために指標を設定している。		成果指標 (総合計画・施策評価)			可能	
			代替指標 ※成果指標がない場合			不可能	
			指定管理者制度の導入施設数 (延べ)			未計測	
						指標の設定	
					○ 可能		
					不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
目 標	施設	47	48	48	48	49	
実 績	施設	47	48	48	48		
達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	・平成26年度から平成28年度までを期間とした南幌町行財政改革実行計画により、限られた財源の効率的・効果的な活用により、財政基盤の安定化を図っていくこととしている。 ・指定管理者制度については、一定の方向性は示せたものとして、今後も導入実績による検証を継続して行っています。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

<b>【種類】</b> 事務事業の種類	<b>【必要性】</b> 事務事業の必要性	<b>【妥当性】</b> 町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業 番号	事務事業名	種 類	所 管 課 名	成 果 指 標	評価年度(H27)		事 務 事 業 の 内 容	必 要 性	妥 当 性	事 務 事 業 評 価 結 果 (方 向 性)		事業費(千円)	
					目 標	単 位						H27実績	H28予算
1	行財政改革推進事業	(1)	まちづくり課	改革項目実施率	100	%	・南幌町自立緊急実行プランの推進及び進行管理。 ・南幌町行政評価委員会による評価・助言等。	III	I	1 現状のまま継続	0	高い	
					83.3	%					0		
2	指定管理者制度推進事業	(2)	総務課	導入施設数	48	件	指定管理者制度導入施設の可否決定、指定管理者の選定等を実施するため、指定管理者選定委員会を開催し、公平・適正な選定を行う。	II	I	1 現状のまま継続	28	普通	
					48	件					41		

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	28
H28予 算	41

②H28に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	・持続可能な財政規模を維持するためにも行財政改革は必要であることから、南幌町行財政改革実行計画に基づき取り組みを進めていく。 ・南幌温泉における源泉ポンプ修繕(5,000千円)や都市公園の維持管理など、制度導入から10年以上経過し、費用面・サービス面などで良い効果が見られることから、今後も継続的な取り組みは必要である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	A

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)									
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の 方向性	事業番号					平成29年度以降 の予算の方向性	
			A						
			B	2					拡大
			C	1					○ 維持
			D						縮小